

引当金 第1問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 売掛金¥70,000 が貸倒れとなった。なお、貸倒引当金に残高はなかった。
2. 決算にあたり、期末の売掛金残高¥2,000,000 に対して、3%の貸倒引当金を設定する。
3. 売掛金¥40,000 が貸倒れとなった。なお、貸倒引当金残高は¥60,000 である。
4. 決算にあたり、期末の売掛金残高¥3,000,000 に対して、3%の貸倒引当金を設定する。なお、決算整理前の貸倒引当金勘定残高は¥20,000 である。貸倒引当金の設定方法は、差額補充法によること。
5. 売掛金¥100,000 が貸倒れとなった。なお、貸倒引当金残高は¥90,000 である。
6. 前期に売掛金¥80,000 を貸倒れ処理していたが、当期になって現金で全額回収することができた。
7. 当期に計上した売掛金¥90,000 が貸倒れとなった。なお、貸倒引当金勘定残高は¥150,000 であった。
8. 当期に計上した売掛金¥40,000 が貸倒れとなった。なお、貸倒引当金勘定残高は¥30,000 であった。
9. ABC 商事(株)に対する売掛金¥800,000 に対して、担保処分見込額¥500,000 を控除した残額の 50%の金額を貸倒引当金として設定する。なお、貸倒引当金に残高はなかった。
10. CDE 商事(株)に対する貸付金¥1,000,000 に対して、2%の貸倒引当金を設定する。なお、貸倒引当金に残高はなかった。

引当金 第1問 模範解答

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	貸 倒 損 失	70,000	売 掛 金	70,000
2	貸倒引当金繰入	60,000	貸 倒 引 当 金	60,000
3	貸 倒 引 当 金	40,000	売 掛 金	40,000
4	貸倒引当金繰入	70,000	貸 倒 引 当 金	70,000
5	貸 倒 引 当 金 貸 倒 損 失	90,000 10,000	売 掛 金	100,000
6	現 金	80,000	償却債権取立益	80,000
7	貸 倒 損 失	90,000	売 掛 金	90,000
8	貸 倒 損 失	40,000	売 掛 金	40,000
9	貸倒引当金繰入	150,000	貸 倒 引 当 金	150,000
10	貸倒引当金繰入	20,000	貸 倒 引 当 金	20,000

【解説】

2. $¥2,000,000 \times 3\% = ¥60,000$
4. $¥3,000,000 \times 3\% - ¥20,000 = ¥70,000$
9. $(¥800,000 - ¥500,000) \times 50\% = ¥150,000$
10. $¥1,000,000 \times 2\% = ¥20,000$